日本教育情報学会・第32回年会 地域史料の実践的アーカイブ化 と協働学習モデルの提案

2016年8月21日

前川道博@長野大学

知識基盤プラットフォーム創出とオープンデータ促進に向けて 地域の知の編集を支援するAllの概念 2014-15

- Augmented Intelligent Interaction(知識の接触への限りなき増大)
- ・なぜAllなのか
 - デジタルアーカイブの課題 その活用を促しにくい
 - 知識・事象の関連付け、相互参照の促進が必要
- ・誰もが知の編集を行える
- ・「集合知」の実現を目指す
- ・オープンデータ促進を支援する

All: 関連づけ・相互参照の編集機能

実世界



書き出

込みア





13/12/14]京橋•江戸歌舞伎発祥之地



京楼と言えば、学生時代、フィルムセンターへ 何度訪れたか許り知れません。間違いなく100回は超えて います。毎度毎度、地下鉄有梁町線を利用していたのでその都度、京橋の高速運略の下を通過してい ました。

久しぶりに京橋を訪れてみて、本当に興味があるものにしか人の関心は向かないということを痛感しま した。

江戸東京における東横は含うまでもなく、日本橋と棚座の中間にあり、日本橋からはわずかNoonしか確 れていません。この京橋に江戸歌儀は条件の地の海が立っていることを今頃になって知りました。そう いえば、昨年春、新歌儀は座のオーゴンにも駆けて歌橋は伴儀たらが親座やパレードしている際には 歌篇使条件の地である東横をスタード地点にしていたことが思い返されてをました。

寛永元年(1624年)、豫若中村座がここに出来て、江戸歌舞伎が始まったわけです。歌舞伎=歌舞伎座 というのは1888年以降の120年ほどの比較的新しい歴史に過ぎません。むしろ江戸時代にどうであった かという状況を知りたいものです。

参考サイト

★発祥の練コレクション/江戸歌舞住祭祥の練

説明板クリップ

史職 江戸歌舞侠発祥之地 大谷竹次郎 題

寛永元年二月十五日 元祖總若中村駅三郎 中横南地と言える此地に 遠若中村座の芝居権を上ぐこれ 正甲酰素佐の濫権也 茲に史跡を按し 斯石を慎め 国朝歌舞伎弟祥の地として永く配念する日本十二年七月 建立 江戸歌舞伎旧史保存会

メディアクリップ

▼01 [13/12/14]京橋・江 ▼02 [13/12/14]京橋・江







引用•転載

引用誘導• 転載誘導支援

デジタルコモンズとデジタルアーカイブ

知識基盤プラットフォーム

デジタルコモンズ (知の共有環境) デジタルアーカイブ 地域史料

ナレッジコモンズ (人とコミュニティ) ラーニングコモンズ (学習と学習支援)

地域コモンズ(地域の拠点)

アーカイブの課題:知の共有

- ・膨大な量の地域史料をどうやってデジタル化し 研究や学習に役立てられるようにするか
- ・MLA(博物館・図書館・公文書館)の課題
 - ラーニングコモンズへの進化
- ・タブレット・スマホへの適用
 - デジタル教材
 - 地域学習のアクティブラーニング

地域史料アーカイブ化の基本的課題

- ・MLAにおける事業としての位置づけの弱さ
 - 二の次、三の次
 - 予算なし
 - スタッフ不足
- ・現行業務のルーチン化・固定化
 - 図書館の閲覧・貸出業務
 - 史料は学芸員専従の慣習
- ・インターネット、タブレット・スマホ等への対応
 - 新たな知のメディア環境となる社会ニーズ
 - 現行業務に縛られ変化できない現状

アーカイブ化を阻むさらなる壁(1)史料の所蔵と活用をめぐる課題

- ・MLAに所蔵されても活用はされない
- ・史料の多くが個人所蔵、MLAは知らない
- ・個人所蔵史料の運命は所有者に委ねられる
 - 立場変われば単なるゴミ
- ・目録化すらされない史料が多数
 - 目録化されてもアクセスの手段がない

史料活用の意義はわかっても その実現に踏み出せない

アーカイブ化を阻むさらなる壁(2)史料の活用に対する専門的関与の壁

- ・史料公開してもわからない、という暗黙の前提
 - 専門家が関与せずに公開はしない
 - 歴史的誤謬や解説の修正に対する主張
- ・期待される専門家の関与
 - その指導により史料活用の考え方や史料を活用した研究活動の裾野を地域社会に広げていくこと

史料はあっても公開されない史料をこそわれらに!

信州シルクロードプロジェクト (1)概要とねらい

- ・「蚕糸王国信州」の資源活用による地域づくり
- ・長野大学と県内各地域との連携プロジェクト
- ・プロジェクトのねらい
 - 地域活動をつなぎ、創発効果の高いものに変える
 - 地域学習の支援、観光、産業の振興
 - 地元に誇りを感じ、知ることが面白い地域に変える
- ・主な事業
 - 地域資源の掘り起こしとデータ化
 - 蚕糸王国信州の物語づくり
 - 観光商品の造成、プランづくり

(2)地域史料のアーカイブ化

- ・史料の本来の利用者は誰か
 - 地域史などを研究・学習する人々
- ・調査研究でアーカイブ化を副次的に進める
- ・アーカイブ化事業のデザイン
 - テーマ指向型の研究、学習活動としてモデル化
 - 生涯学習プログラムないしはプロジェクトとして計画

(3)観光データ基盤構築の課題

- ・共有データがない
 - その都度場当たり対応、業者任せ
- ・情報ツールの利用自体が苦手
- ・ニーズに応えられるメディア環境が未整 備

(4)信州蚕糸業アーカイブの基本構想

- ・参加型・分散型アーカイブモデルの適用
 - 複数の学習者が主体となり地域史料を分散的 にアーカイブ化する
- ・アーカイブ構築支援ツール「PushCorn」適用
- ・特定の場所に分散する地域史料を少しず つ集め、自分たちの調査研究に必要な史料 をデジタル化、共有化する

プロジェクト駆動による協働学習モデル

- ・学習グループが必要な史料をデジタル化
- ・アーカイブでデータ共有し協働で学習を進める
- ・タブレット・スマホを手元に、アプリ提供



第一歩は常にデジタル化から

- ・デジタル化=史料調査で例外なしに行う作業
- ・研究者はスタッフ総動員で現地で史料を撮りまくる
- ただしデジタルデータが公開されることはない

<示唆していること(ヒューリスティクス)>

- ・①史料は必要とする人により利用される。
- ・②デジタル化史料は読み取れれば実用に耐える。
- ・③史料はデジタル化して利用可能性が高まる。
- ・4施設では、コピーを促進して利用機会が増大する。

デジタル化を許諾する代わりに、データ提供をトレードルールとする

協働学習モデル「全国/地域風穴アーカイブ」

- ・全国風穴サミット=広がりつつあるナレッジコモンズ
- ・柱になる共有データ「全国風穴リスト」
- ・各地域の風穴データは分散型で、各地域が主体に



全国風穴リストのオープンデータ化

- ・2014年、清水長正氏の全国風穴調査データを一覧化
- ・オープンデータ化により更新を可能に
- ・情報空間をデジタルコモンズに

全国風穴小屋マップ

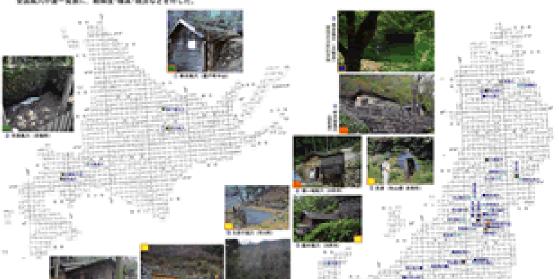
NPO地域づくり工房

2014

ADDRESS ON CALAMBRA STREET, SEE ADDRESS ON CALAMBRA SEE ADDRESS ON CALAMBRA SEE ADDRESS ON CALAMBRA SEE ADDRESS ON CALAMBRA SEE

展示のデータベースとして、受賞展示や第一覧表と受賞展示や数字ップを構造・中心した。方法は、よ初の根本部は関の資料と一部の利力などに厳心を大力を他(出版の利力を介えている)を含て書きなし、さらに規模的に一般的に関係の様子・他と、他を与う的をにあれませんの様子的構造となっている。また、その人が位置するの形式を含むに対している。 もの形式を含むに対しているには知道とでは、、他を認定を関小機能を置するションした。また、最もの表示が確認として、同じて相談、無理が構造し、様子的構造 の一般の場合や大胆や微量を含くして実施・力学のの研究とどもやした。最後の表示が集まする場合では、そこの代表的なまだまたは自然をあるした。展示をに フィマス・国際として対か、大田の機能を指令シストに関心を知らしたが、一般で最近の名称が変更しているようとではそれを表示した。

今今日の全国展内の第一覧表には、展内をが確認ある場合をおらりを記してある。これまでに現他で確認された展内と、説明等から特性性差が利用した展内は、全国展内が第一覧表に、範囲を・確実・確認をどきがした。



各地域の風穴を分散型アーカイブに

- ・モデルサイト『信州風穴アーカイブ』
- ・持続的活動を行う団体・信州上田風穴の会に提案



信州風穴アーカイブの作成例

- ・各風穴のデータをメンバー持ち寄りで蓄積
- ・ムリせずできることだけする「おすそ分け」
- ・地域史料を必要に応じその都度デジタル化

信州県穴アーカイブ

別所氷沢風穴(上田市) 2016/02/06

カテゴリ <u>別所永沢風穴(上田市)</u> 地域: <u>信州上田</u> (登録日: 2016/07/21 夏新日: 2016/07/26)



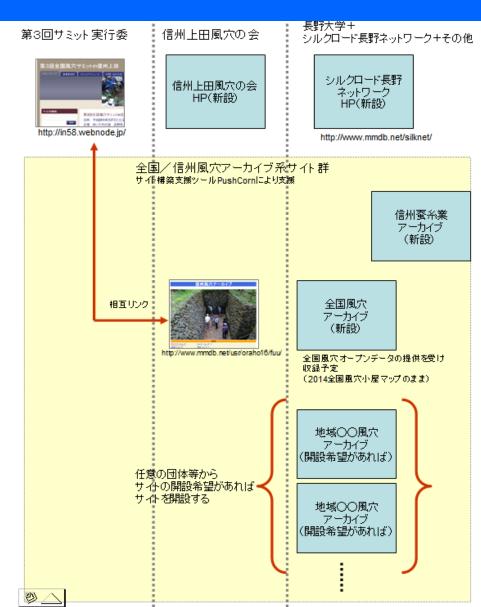
→画像表示 [<u>Lサイン</u>] [<u>オリジナル</u>] 記録日: 2016/02/06

別所見穴見学会はお疲れ様でした。15人の参加者でした。林道は除雪してありますが、草を止めるための除雪に一汗かきました。積雪量があり、倒木が邪魔して至るのに軽廉しました。 横川さんの見つけた温見穴より上は参加者は登らない様にしてもらいました。中島さんが二号め、三号めの温見穴を発見してくださり、寒動です。

(2016/02/06 小太郎記)

風穴系アーカイブと蚕糸業系アーカイブ

・地域・グループごとに サイトは分散させ、リンク させる



風穴と関連する蚕糸業アーカイブ1

- ・地域史料はデジタル化しサイトへ公開
- ・関連づけ(リンク)により「風穴」の奥行きが増



<mark>-</mark>17「鳴。倉澤湜山翁」 (倉澤運平翁を偲ぶ特集) 物語』 蚕種製造家・倉澤運平の史料 (別所氷沢風穴の関連史料)

▼18 埋もれた書物『蚕都 ▼19 昭和28年発行、碓氷 ▼20 「風穴調」 風穴の

風穴と関連する蚕糸業アーカイブ2

- ・信州上田と周辺地域=蚕種製造の中心地
- ・藤本蚕業(1908年~、現藤本工業)
- ・地域史研究家が近現代の史料を目録化し整理保存





藤本蚕業史料 風穴活用時代の背景を探る

協働学習モデルの提案

- ・活動をより面白く!
 - 学習・研究活動の記録・発信による「生きがい」づくり支援
- ・活動の拠り所に(会のポートフォリオ)
 - 記録・データ・資料・記事の蓄積・活用
- ・個人所蔵のアーカイブ化(史料の所蔵と活用の課題)
- ・MLA所蔵史料の「ねらいうち」アーカイブ (「知の共有」の課題)
 - 特定グループにより史料をデジタル化
- ・デジタルコモンズによりナレッジコモンズが支援される

学際的なナレッジコモンズの知の源泉に

- ・アプリやウェブサイトの開発・利用に展開できる
 - 地域学習をアクティブに変える可能性を開く
- ・学際的なナレッジコモンズの形成を促す
 - 蚕糸王国信州と風穴の関わりに関心
 - 信州蚕糸業アーカイブにも取り組む
 - 学際的研究、観光・産業創出に役立てる期待